

2013年 謹賀新年

広野町での生活を

取り戻す年にするために



広野町町長
山田基星

新年明けましておめでとうございます。

年頭に当たり、皆様が今年一年を健康に過ごされることをお祈り申し上げるとともに、町政各般にわたるご理解とご支援に対し、心から感謝申し上げます。

さて、広野町では、一昨年の9月30日に緊急時避難準備区域が解除されて以来、精力的に除染作業を実施し、今までに居住区域での除染はほぼ完了いたしました。今後は、追加被ばく線量を年間1ミリシーベルト以下まで減少させることを目指し、引き続き除染に取り組んでまいります。

また、「広野町緊急時避難準備区域復旧計画」に掲げた事業を着実に実施してきた結果、町内で生活するために必要な上下水道や生活道路などのインフラ整備は、確実に復旧いたしました。

しかしながら、町民の皆様の放射能に対する不安や生活の利便性が十分には回復していないことなどにより、町内への帰還が思うように進んでいないのは残念なことであります。

このため、今後におきましては、医・食・住に関する環境整備に重点を置き、皆様が「これなら安心して帰ることができる」と感じていただけるような施策を進めてまいります。

具体的には、「医」の分野では、現在、診療日を限定している医療機関の診療日の拡大、休診している歯科医院の再開などについて、国・県の支援も受けながら実現したいと考えております。「食」の分野では、町民の皆様の不便さを少しでも解消するため、日常の買い物が町内でできるよう店舗の再開を積極的に働き

かけてまいります。「住」の分野では、既に造成工事に着手しました災害公営住宅の早期完成に努めるほか、分譲宅地の造成も行っております。このほか、広野町への帰還に対し支障となっている事項について、町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、一つ一つ着実に実現してまいりたいと考えております。

思えば、東日本大震災から1年10か月が経過しようとしております。この間、私たち誰もが一度も経験したことのない苦悩を味わってまいりました。今年こそ、その苦悩を希望に変える明るい年であることをお祈りし、新年のご挨拶といたします。